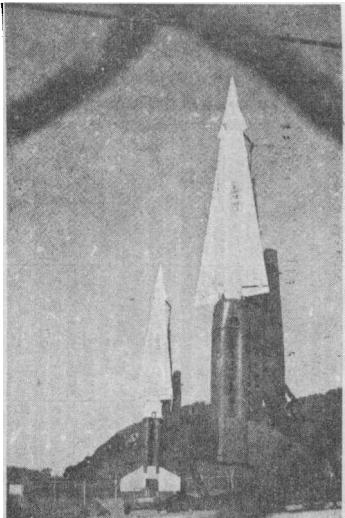




# 沖縄解放と七十年代階級闘争

## 切り拓いた地平は何か



# 沖縄闘争通信

琉球解体・暴行殺戮の月闘争により開始された、現地闘争の

今秋期政治闘争は、十一月闘争の只中から実り闘争の盛んなとき、七十年代闘争をもたらす新たな大衆闘争の主体「沖縄反戦」を浮上させた。全軍の解雇抗争、東洋ガス石油基地反対闘争を両輪として、七十年代沖縄闘争はすでに展開されてゐる。

### 第一回 東洋ガス石油基地建設反対 闘争の歴史的背景

沖縄反戦闘争は、東洋ガス石油基地建設反対闘争として始まり、その後、沖縄反戦闘争が主導する闘争へと発展した。

第一回 東洋ガス石油基地建設反対  
闘争の歴史的背景

第一回 東洋ガス石油基地建設反対闘争は、1969年11月に起きたもので、沖縄反戦闘争の最初の一歩として位置づけられる。この闘争は、沖縄反戦闘争の歴史的背景として理解される。

(1)

第一回 東洋ガス石油基地建設反対闘争は、1969年11月に起きたもので、沖縄反戦闘争の最初の一歩として位置づけられる。この闘争は、沖縄反戦闘争の歴史的背景として理解される。

第一回 東洋ガス石油基地建設反対闘争は、1969年11月に起きたもので、沖縄反戦闘争の最初の一歩として位置づけられる。この闘争は、沖縄反戦闘争の歴史的背景として理解される。

第一回 東洋ガス石油基地建設反対闘争は、1969年11月に起きたもので、沖縄反戦闘争の最初の一歩として位置づけられる。この闘争は、沖縄反戦闘争の歴史的背景として理解される。

第一回 東洋ガス石油基地建設反対闘争は、1969年11月に起きたもので、沖縄反戦闘争の最初の一歩として位置づけられる。この闘争は、沖縄反戦闘争の歴史的背景として理解される。

第一回 東洋ガス石油基地建設反対闘争は、1969年11月に起きたもので、沖縄反戦闘争の最初の一歩として位置づけられる。この闘争は、沖縄反戦闘争の歴史的背景として理解される。

第一回 東洋ガス石油基地建設反対闘争は、1969年11月に起きたもので、沖縄反戦闘争の最初の一歩として位置づけられる。この闘争は、沖縄反戦闘争の歴史的背景として理解される。

# 日米共同声明

## 一 分析視角と情勢 —

### 1. 日米共同声明 の意義とだれが 書いたか

2. 太平洋時代  
といふ名文句

3. アジア支配観

## 告 発 第一

☆毒ガス禁止運動の必要性  
☆催涙ガス被害の実態—CNXメモ

☆資料・化学兵器、主要毒ガス効力比較

秋田明人著

# 獄中記

好評重版出来/B6判/￥490

日大十万の学生と全国のたたかう学友、労働者、市民に、獄中から呼びかける戦闘と連帯のメッセージ！権力を告発する全人間的闘争の記録！

秋田明人著  
異常の日常化の中で  
発行 社 共 全  
発光 ウニタ書舗

東京新宿御苑町1-40  
電 030-649-3  
東京新宿御苑町1-5  
電 030-553-3

## 一、教育再編の動向と闇いの視点

### 東大教育系院生会議

#### A、大学再編の基本方向

##### 日本学生運動の現状と

日本学生運動は、これまでのところ、主に「反対運動」としての形で展開されてきた。しかし、この反対運動は、必ずしも「反対」だけではなく、「反対するうえでの自らの運動」である。つまり、反対する側が、必ずしも「反対する立場」ではなく、「反対するうえでの自らの立場」である。つまり、反対する側が、必ずしも「反対する立場」ではなく、「反対するうえでの自らの立場」である。

## 七〇年代教育闘争の課題と展望

## 大学闘争・高校生反戦教師の闘う統一戦線を創出せよ！

## 全都教育共同闘会議

#### B、大学闘争をめぐる現状況

##### 今後の課題

今後の課題は、主に「反対運動」としての形で展開される。つまり、反対する側が、必ずしも「反対する立場」ではなく、「反対するうえでの自らの立場」である。

## 二、「大学改革」の本質

### 筑波研究大学と 教育大自主講座委員会

#### A、東教大筑波移転の本質

##### 筑波研究大学と 教育大自主講座委員会

#### B、「筑波新構想大学」のネライ

「筑波新構想大学」のネライは、筑波研究大学と教育大自主講座委員会が、主に「反対運動」としての形で展開される。つまり、反対する側が、必ずしも「反対する立場」ではなく、「反対するうえでの自らの立場」である。

（以上は、筑波研究大学と教育大自主講座委員会によるもの）









